

クロザピン転院依頼の調査票

患者名

年齢

性別

①治療抵抗性の判定

反応性不良

抗精神病薬①

薬剤名

投与量 ()mg/日以上を 年 月 日～ 年 月 日まで使用

GAF 点

抗精神病薬②

薬剤名

投与量 ()mg/日以上を 年 月 日～ 年 月 日まで使用

GAF 点

<参考>

- ・2種類以上の抗精神病薬を使用し、そのうち1種類以上は非定型抗精神病薬であること
- ・クロルプロマジン換算600mg以上であること
- ・非定型抗精神病薬は4週間以上、定型抗精神病薬は1年以上の治療歴があること
- ・非定型抗精神病薬が併用されている場合は、クロルプロマジン換算で最も投与量が多い薬剤を記載すること
- ・GAF41以上に相当する状態になったことがないこと

耐容性不良

単剤使用した非定型抗精神病薬①

薬剤名

抗パーキンソン薬剤 ()を最大()mg/日使用

DIEPSS 歩行 0 1 2 3 4 アカシジア 0 1 2 3 4

流涎 0 1 2 3 4 ジスキネジア 0 1 2 3 4

振戦 0 1 2 3 4 ジストニア 0 1 2 3 4

動作緩慢 0 1 2 3 4 筋強剛 0 1 2 3 4

単剤使用した非定型抗精神病薬②

薬剤名

抗パーキンソン薬剤 ()を最大()mg/日使用

DIEPSS 歩行 0 1 2 3 4 アカシジア 0 1 2 3 4

流涎 0 1 2 3 4 ジスキネジア 0 1 2 3 4

振戦 0 1 2 3 4 ジストニア 0 1 2 3 4

動作緩慢 0 1 2 3 4 筋強剛 0 1 2 3 4

<参考>

- ・2種類以上の非定型抗精神病薬を単剤使用していること
- ・以下のいずれかの理由に該当すること
- ①中等度以上の遅発性ジスキネジア、遅発性ジストニア、その他の遅発性錐体外路症状の出現または悪化
- ②コントロール不良のパーキンソン症状、アカシジア、急性ジストニアの出現
- ③DIEPSSジスキネジアが3点以上の状態 ④DIEPSSジストニアが3点以上の遅発性錐体外路症状
- ⑤常用量上限以上の抗パーキンソン薬投与を含む様々な治療を行ったにもかかわらず、
 - ・DIEPSS歩行、動作緩慢、筋強剛、振戦の4項目のうち3点以上が1項目、あるいは2点以上が2項目以上存在する
 - ・DIEPSSアカシジアが3点以上の状態
 - ・DIEPSSジストニアが3点以上に相当する急性ジストニアが頻発し患者自身の苦痛が大きい

②安全性について

血液検査結果 検査年月日 年 月 日

白血球数 /mm³

好中球数 /mm³

糖尿病またはその既往 有 なし

③同意

本人の同意 有 なし 検討中

家族の同意(続柄) 有 なし